ワイズメンズクラブ 国際協会　西日本区
京都部部報
2号/2022-2023度版　BULLETIN

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
REGION JAPAN WEST ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

京都部　部長主題	United by YMCA　～YMCAで、ひとつになる～	京都部部長 石倉　尚（京都キャピタル）
西日本区理事主題 スローガン	原点を知り将来に生かす 立ち上がれワイズモットーと共に	西日本区理事 田上　正（熊本むさし）
国際会長主題 スローガン	Let Your Light Shine「輝かそう、あなたの光を」 Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」	国際会長（IP） Ulrik Lauridsen（デンマーク）
アジア太平洋地域会長主題 スローガン	Elegantly Change With New Era「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Do it Right Now「今すぐ実行を」	アジア太平洋地域会長（AP） Chen Ming Chen（台湾）

「ちむどんどん」から「舞いあがれ！」

京都部部長　石倉　尚（京都キャピタルワイズメンズクラブ）

今期もいよいよ折り返しが近づいてきました。コロナは収まる気配もありませんが、計画された事業は粛々とすすみ年の瀬を迎えようとしています。今期がスタートした時、朝ドラでは「ちむどんどん」が放映されていました。「ちむどんどん」とは、沖縄の方言です。「ちむ」は「心」で、「胸がわくわくする感じ」を意味します。この半期、部長として「ちむどんどん」する事業が沢山ありました。

９月３日の第27回京都部部会には、380名を超える参加をいただき無事に開催できました。部旗を掲げてのバナーセレモニーは感動もので、部長冥利に尽き感謝感謝です。「United by YMCA～YMCAで、ひとつになる」の主題を掲げ、YYYフォーラムを部会で開催したことでYMCAの思いがひとつになったのではないでしょうか。

また、10月30日のワイズデーも心配していた天候にも恵まれ、各クラブの出店と多くの参加者で開催でき、YMCAの国際協力街頭募金と同日開催となったことで偶然にも掲げた主題と合致したと思います。部内の交流においては16クラブの部長公式訪問、京都ブラッククラブ設立総会とチャーターナイト、ウイングクラブ35周年記念例会、京都クラブ75周年記念例会と部内での多くの交流を持てたことも（多用でしたが…）大変良い時を共有できたと感謝しております。

今、西日本区では財政健全化について協議しています。根本にあるのはメンバーの減少であります。アジアにおいて西日本区は、メンバーも多く活発に見えます。同じように西日本区における京都部は、メンバーも多く500名を維持し「京都部はいいね」と良い評価を受けています。ただ、京都部においてもクラブによって差があることも事実です。クラブの中でもメンバー間に差があり同じことが言えるのではないでしょうか。メンバー増強は喫緊の課題です。今に始まったことではないのですが…。

下半期にも多くの事業があります。国際交流懇談会、沖縄クラブチャーターナイト、第３回東西日本区交流会、グローバルクラブ30周年記念例会、トゥービークラブ25周年記念例会、熊本での第26回西日本区大会等々。次期の京都部も役員が決まり、これから次期へ向けての準備が進められていきます。今期に準備できていれば良かったと思うことを課題として次期への備えをしてまいります。

この秋から朝ドラは「舞いあがれ！」が放映されています。空を飛ぶという夢に向かう物語です。私たちもいろんな課題を解決すべく舞い上がれ！です。残すところあと半期、部長として大いに楽しみ活動してまいります。皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。

上半期を終えて　部役員

京都部次期部長　武村　松一
京都ウイングワイズメンズクラブ

早くも次期部長としての半期が終わり、いよいよ尻に火が付きかけてまいりました。いろいろ勉強しなければ、と思っていましたがいかんせん自クラブ内での「非主流派」としての期間があまりにも長く、ある意味「新鮮」な事ばかりです。悲しいかな、あと半年で“次期部長”から“次期”の文字が外れます。この文字が外れるまで何とか知識を補充し、物事に動じない胆力を身に着け、威風堂々たる振る舞いで一年間駆け抜ける知力・体力・気力を備え付けられるよう行動したいと思います。幸運にも半年身近で体験させていただいたことは良い経験になっております。次期は次期なりの色を出し、「今期の部長は変わったやつやな」と思われるくらいの独特なことを発信していこうと思います。皆さま！「乞うご期待」でお待ちくださいませ。

京都部直前部長・京都部監事　中村　隆司
京都ウェルワイズメンズクラブ

在京ワイズメンの皆様こんにちは！　日頃からワイズ活動にご尽力を頂き有難う御座います。3期連続でコロナ禍の中でのスタートとなった石倉部長期も、あっと言う間に上半期が終わりましたが、前期、前々期とは違い、少しずつコロナ前に戻りつつあったのではないでしょうか。私の部長期には、他部の部会や周年例会、そして合同例会等もほぼほぼ中止や延期となり、私が1番に挙げておりました交流であったり、ワイズを存分に楽しむと言った事からは程遠い状況で、フラストレーションが溜りに溜まっておりましたが、今期はほとんどの部で部会や周年例会が開催され、京都部でも積極的に交流の場が持たれ、私も水を得た魚のように、ほぼ全てに出席や参加をさせて頂き、うっぷん晴らしをさせて頂き、大いに楽しませて頂きました。やっぱりワイズはこうでなかったらダメですよね！ただコロナが完全に終息した訳ではありませんので、やはり感染拡大には十分に注意をして活動をしておりますが、このままコロナ前の日々に戻る事を祈るばかりです。まだまだ下半期にも周年例会やチャーターナイト、そして東西交流会や区大会がありますので大いに楽しみたいと思います。皆様、ワイズを楽しみましょうね！

京都部統括担当主事　藤尾　実
京都YMCA

昨年7月に始まったワイズメンズクラブ京都部石倉部長期も上半期が過ぎました。今期の部長標語として「私たちはYMCAで、ひとつになる」をあげられ、今一度、ワイズメンズクラブの活動の目的に立ち返り、YMCAと共に歩むことを活動方針として挙げられました。

9月開催のワイズメンズクラブ京都部部会では、YYYフォーラムでYMCAリーダーOBOGが参加し、ワイズメンズクラブの支援による青少年育成の成果を共有する機会を与えていただきました。10月開催のワイズメンズクラブ京都部主催のワイズデーは、ワイズメンズクラブのSDGs事業、そしてYMCAの活動を市民のみなさまにアピールする貴重な機会となりました。また、新しいキャンプ地である旧神崎小学校校舎内清掃、整備・リトリートセンターの維持管理ワークやYMCAの各種寄付金へのご協力など、京都YMCAの諸活動に多大なご支援をいただき感謝申しあげます。

現在、京都YMCAでは、「地域から必要とされる存在になる」を主題として、2021年度に中期計画を策定し2023年度まで、既存事業や組織の改革を進めていこうとしています。その取り組みを、ワイズメンズクラブメンバーのみなさんと共にすすめてまいりたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

京都部書記　田中　雅博
京都キャピタルワイズメンズクラブ

今期京都部の書記を務めております、京都キャピタルワイズメンズクラブの田中雅博です。上半期の半年間は、何かとお世話になり有難うございました。毎月の役員会、2回の評議会を経て、少しずつ京都部の仕事を経験し、理解することが出来てきたように思います。今期は部長も「できる限り事業の中止や延期はしない」との方針であり、今のところ何とかほとんどの事業を計画通り開

催することが出来ましたことを大変嬉しく思っております。京都部部会・ワイズデーをはじめあらゆる事業の成功は、京都部の皆さまの絶大なるお力の賜物です。有難うございます。

後半の半年は、今までの経験を糧として一層精進し、京都部を盛り上げていきたいと考えております。コロナ禍はまだまだ完全終息には至りませんが、それに負けずに、皆さんとともに楽しんで参りたいと思います。6月まで、何卒よろしくお願い申し上げます。

京都部書記　八木　悠祐

京都キャピタルワイズメンズクラブ

ようやく、京都部書記としての半期を終えることができました。

主に、役員会評議会での議事進行をさせていただきました。進行上、行き届かないところもあり、時間配分などには特に苦心しております。評議会での各クラブ会長の一言に関しましては、自クラブの事業報告をいただき、改めて各クラブが活動していただいているYMCA活動や地域奉仕活動への熱い思いがひしひしと伝わってきます。今まで知らなかった京都部のクラブ事業に触れることができ本当に良い経験をさせていただいていると感じております。また、今期は会長会にもお誘いいただき、お酒を飲みながらワイワイと情報交換をさせていただいていることにも併せて感謝申し上げます。京都部役員、クラブ会長の皆さまのご協力をいただきながら、下半期も楽しく頑張ってまいりたいと存じます。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

京都部会計　香山　章治

京都キャピタルワイズメンズクラブ

石倉部長期、皆様のご協力をもちまして無事上半期を終えることが出来ました。京都部各クラブの皆様には上半期部費を速やかに納入いただき誠に有難うございました。

上半期はキャビネットとして可能な限り各部会、各周年例会、各事業に参加しました。西日本区の多くのメンバーとの出会いを持つことが出来、交流・懇親を深めることが出来た事は私の財産となりました。

下半期も京都部会計としてしっかりと業務にあたるのはもちろんの事、まだまだ多くの事業がございますのでできる限り事業に参加し、石倉部長をお支えしつつ、更に多くのメンバーと交流を深め、研鑽に励みたいと思います。

最後に下半期部費納付につきまして、各クラブ会長様宛に請求書を送付させていただきますので、記載期日までに納付いただきますようよろしくお願い申し上げます。どうぞ下半期もよろしくお願い致します。

京都部事務局長　金原　弘明

京都キャピタルワイズメンズクラブ

コロナ禍の中、今期が始まるまでは、多くの事業が制限を受け続けた2年間でしたが、今期は何とか予定通り、部会やワイズデー、各クラブの周年例会など大きな事業を開催することができ、無事に半期を終えることができました。これも偏に皆様のご協力のお蔭と、心より感謝申し上げます。

事務局長としての仕事も何とか半期を終えることができましたが、京都部から発信する情報（メール）が予想以上に多いことに驚きました。それを受け取る会長さん、メール委員さんは大変なことだろうと思います。新たに設立された新クラブの会長さんは更に大変かもしれません。

今後も、多くの情報発信や様々な行事の段取り・調整が必要だと思いますので、より簡潔でわかり易く間違いの無い発信を心掛け、受け手の皆様の負担を少しでも軽くしていくことができればと思っております。

下半期も、どうぞよろしくお願い致します。

上半期を終えて　事業主査

主題 前進！～～YMCAでつながる仲間と共に～～

YMCAサービス・ユース事業主査　**宮﨑　順巳**
京都キャピタルワイズメンズクラブ

　いつもYサ事業へご協力いただきまして、ありがとうございます。
　今期が始まってから半年が経ちました。色々とありまして、皆様にはご迷惑をおかけしております。リトセンワーク、旧神崎小開設準備ワーク、京都部部会でのYYYフォーラム、リトセンオータムフェスタ、そして3年ぶりとなった第16回京都YMCAインターナショナル・チャリティーランと大きい事業が皆様のご協力により無事終えられました。本当にありがとうございました。私はクラブ会長経験も無く、クラブの外へ出ることが無かったメンバーです。今回Yサ主査を拝命して変わったことは、自クラブ以外の各クラブに対する印象でした。沢山のワイズメンがYMCAを支援しようと一生懸命に頑張っている、素晴らしいワイズメンの皆様がいるということでした。
　下半期の抱負としてはYサ事業に関わっていくのは勿論ですが、その他の事業にも参加し、沢山のワイズメンの方々と交流をしていきたいと考えております。
　下半期も引き続き、京都部事業へのご協力をお願いいたします。

主題 全員が一緒に前進すれば、成功は後からついてくる

地域奉仕・環境事業主査　**木村　拓馬**
京都トゥービーワイズメンズクラブ

　振り返って思い起こせば正直こんな自分がよくやれたなと思います。
　書類の書き方一つとってもたくさんのご指導いただきました。今まであまり使ってこなかったワードやエクセルも使うようになり、小さなことですがこれも一つの自己研鑽に繋がっているのだと感じております。
　上半期を思い出すと『たくさんのワイズメンと交流を持てた、交流が深まった。』この想いが最初に出た感想でした。
　この楽しみがないと私のような人間は続かないと思います。今期始まってからとても忙しい日々を過ごしました。役員会や自クラブの委員会、部長公式訪問随行、他クラブの事業や例会への参加などなど1週間のうち半分以上夜に家を空けるようなこともしばしばあり、正直妻との関係も悪い時期もありました。
　しかし今ではしていることの大切さや今後の人生において貴重な財産につながると理解し、まるで新婚夫婦のような仲の良さでまで回復いたしました。11月のある1週間、主査を務めて初めて毎日家にいる夜が続いた時に妻から『こんな毎日夜おられたら逆に困る』と二人で談笑しました。その時、私もワイズメンとして少しずつ慣れてきているなか、妻もメネットとして慣れてきたんだなと思いました。
　今期私の大きな仕事の一つであるワイズデーがありました。たくさんの方々の協力のもと無事開催できたこと、まさに今期の主題である『全員が一緒に前進すれば、成功は後からついてくる』を体現できたと思っております。皆様のご協力、誠にありがとうございました。
　これからも頑張っていきたいと思います。各クラブの事業など、いつでも誘ってください。皆様、下半期もどうぞよろしくお願いします。

主題 今こそ仲間の絆 出席率90%以上めざせノンドロップ

EMC事業主査　**青倉　国士**
京都ウイングワイズメンズクラブ

　第27期のEMC事業主査を受けて、もう半期が経ちました。部長公式訪問随行や他のクラブの入会式。また京都クラブ、ウイングクラブの周年記念例会。そしてEMCの醍醐味でもあるエクステンションが行われ、京都部に18番目となるクラブ、京都ブラッククラブの設立例会。慌ただしい半年でした。今後もトゥービークラブ、グローバルクラブの周年記念例会もありますし、更に新しいクラブが沖縄に設立されます。うれしいことです。

今期はメンバー増強100名を目指しています。現在31名の新しいメンバーが増えています。後半期、目標達成できますよう引き続きよろしくお願いします。

部長公式随行や入会式、またゲストスピーカーとして他のクラブに行かせていただいて、各クラブで例会の進め方や雰囲気が全く違うことに驚きました。また各クラブでEMC事業への取り組みや考え方の違いもあります。メンバーを増やし活動を共にするためにも、入会の基本であるオリエンテーションはクラブ共通であることが大事だと思います。

残り半期、京都部の為に頑張ります。

主題 一歩前へ ～コロナ禍の今、出来る交流を一歩一歩～

国際・交流事業主査　**小林　郁佳**

京都トップスワイズメンズクラブ

上半期を終えて…不安と緊張の中、走り出した国際・交流主査としてのお役目。

まず部長公式訪問随行と皆様の前での発表！

中々、上手く話せない自分がもどかしく、自分の思いが伝わっているのか？疑問の中ですが、話しが下手なら、まず行動で伝えようと、時間の許す限りで、西日本区、何処でも参加させて頂き楽しく交流！楽しく学ばせて頂いております。

Ｙサ懇談会、EMC懇談会、交流懇談会と続くはずが…。第七波と言われた、８月８日の懇談会延期…。

その後は何とか無事に開催された、各部会、周年記念例会、次々と開催、各種イベント、盛りだくさんの10月・11月、あちこちに参加させて頂きワイズメンとの交流、今までのワイズ活動とはまた、違った角度からの、初めて感じた活動の学びと楽しみ、今後の目標も薄らとみえてきた様に感じます。

参加する事に意義がある～から始まった私のワイズ活動が、少しずつ深くなり、同じ参加するなら、もっと中身を学び、協力し合い、一丸となろう！

京都部石倉部長の主題　YMCAで一つになろう～

もっともっとワイズ魂を伝えて行きたい気持ちです。焦らず一歩一歩～

来年１月20日に決定致しました、国際・交流懇談会ファンド合同も私の思い、願いが皆様に通じますよう。新たに誕生したiGOの理解と促進、DBC・IBCの発展、各クラブのファンド商品の共有と販売、などなど…、交流事業の大切さ、楽しさを拡げていきます。

良い交流はEMCにも繋がると西日本区交際・交流主任の小田主任も言われてます。

同じ思いを目指す、仲間をもっともっと増やし、巻き込んで行きたいと感じてます。

主題 ワイズの元気玉！

PR委員会 委員長　**佐治　幹生**

京都ウエストワイズメンズクラブ

みなさん！いかがお過ごしでしょうか？京都部PR委員長の佐治です。

PR委員長を拝命させて頂き半年が過ぎようとしています。 京都部会・ワイズデーを終えて、他クラブメンバーの皆様とも交流も図れて、新たなご縁なども頂き楽しいワイズライフを過ごさせて頂いています。

京都部としての大きな事業は、終了しているのですが、まだまだ、様々な事業もあり気の抜けない状況ではあります。

振り返れば、京都部の醍醐味の一つでもある部長公式訪問では、PR委員長として部長の随行をさせて頂きました。訪問させて頂いたクラブ様には、お世話になりありがとうございました。その中でも、京都部のホームページのバナー広告をYMCA100周年に、ちなんで100件にする！と宣言させて頂きました。言い切りで達成しないと！と少し焦っています。（ご協力頂いているメンバーには感謝いたします。）

まだ、下半期もありますので、ご協力、宜しくお願い致します。下半期の抱負は、PR委員長としてやはりバナー広告100件の達成する為に試行錯誤しながら、達成致します。もう一つは、メンバーとの交流も図り、次年度のPR委員長はじめ、自クラブでも、経験を活かし微力ながらもワイズメンとして行動する事で御座います。今後とも、見かけた時は、気軽に、お声掛け頂ければ嬉しく思いますので、皆様、宜しくお願い申し上げます。

上半期を終えて　各クラブ会長

主題 Reborn 2ndstage ～ for the future～ これからのクラブに必要な変革を

京都ワイズメンズクラブ
会長　合田　太一

　早いもので、今期も始まってもうすぐ半年が過ぎようとしています。10月はパレスクラブさんとの親子合同例会を開催させていただき11月には、京都クラブの75周年記念例会も無事に開催することが出来ました。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。今年度は、周年例会やチャーター等、例年に比べてイベントが多く、11月に集中していて、中々ハードな毎日でした。残り半年の会長職ですが、会暦の浅い方や、これから京都クラブの会長をする方が活動しやすい環境をクラブメンバーと協力して、出来るだけ整備できたらと思っております。今年は会長会も１月には４回目を開催し、順調に親睦を深めています。素敵な同期会長に恵まれて楽しくさせていただいております。これがきっかけでクラブ間を超えて、面白いことが出来たらいいなと思います。残り半年もどうぞよろしくお願いいたします。

主題 次のステップへ・パレスを楽しもう
副題 ALL FOR ONE～皆は一人の為に、一つの目的の為に～

京都パレスワイズメンズクラブ
会長　古川　安雄

　あっという間の上半期でした。特にクラブメンバー、各事業委員長、三役そして京都部役員の皆さんや各クラブ会長の皆さんに支えられてのクラブ運営でした。本当に皆様、有難うございます。
　主な上半期の活動として、親クラブの京都クラブ様と久し振りの合同例会開催。新たなDBC締結を念頭に置きながらの甲府21クラブ様の例会・役員会への参加で、YMCAやCS事業を含めたクラブ運営などを勉強させて頂きました。そして、DBCクラブの東京グリーンクラブ様の43年続いているCS事業へ数年ぶりに参加させて頂き、互いの友情を深めました。ワイズ活動を通して、クラブメンバーや出会った皆様のと出来事が私の財産です。
　そして下半期に向けて、特に、京都パレスクラブ50周年記念事業活動として、ラオスにYMCA国際ホテル専門学校を設立するにあたって本格始動する年に入ります。このプロジェクトの専門委員会を既に設置しております。京都部の皆様はじめ、西日本区、東日本区の皆様、多くの皆様方と一致団結して、更にご賛同を頂けます様に活動致します。
　このラオスにYMCA国際ホテル専門学校を設立運営する事業は皆様のご協力が不可欠です。是非とも沢山のワイズメンの皆様に、ご賛同やご協力のお声がけをお願い致します。

主題 絆～そして一歩前へ～
副題 Raise The sail（帆を上げろ）

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長　澤田　長利

　会長期が始まる今年の１月から７月のキックオフ例会までの間は色々と模索しながら計画と準備を進めてきました。いざ43期が始まると、コロナ明けということもあり三役会、各委員会、例会、YMCA行事、などがリアル開催で行われ行事の波にのまれそうでした。今期掲げている「絆」を行動に移すのには最適な時期ではなかったかと思います、今期は絆を深めてEMC拡大を進めることを目標としておりまた、当クラブから西日本区塚本EMC主任の輩出を行い京都部には佐治PR委員長、アジアにはAFS事業主任の河合ワイズと沢山活躍していただいています、その中でのクラブ会員増強ではまず半期で川崎ワイズ、小林ワイズ、濱田ワイズと３名の方に入会いただきまして現在45名（主事含む）にまで増えてきました。また交流ではキャピタルクラブとの合同例会、クラブ内での懇親を深めるための「あそうぼう会」EMCゴルフコンペや毎月までとはいきませんがホテル例会では沢山のゲストさんの参加などかなり充実が出来たと思います。

今期EMC主任の随行で、今まで行ったことのない各部会への出席＆各クラブ周年も参加できワイズの醍醐味である交流を満喫させていただいております。これも三役やクラブメンバーの協力があってこそ、と思っており感謝です。例年なら年内でほぼ大きな行事が終わるはずなのですが今期は他クラブ周年もまだあり、第３回東西交流会やワイズ100周年in台湾もあります、非常にアクティブな年ですが後半も６月の西日本区まで頑張っていきたいと思います。 最後にEMCですが全力で頑張っていきたいと思います。

主題 Walk on

副題 ～未来へのステップ～

京都めいぷるワイズメンズクラブ

会長　**藤井　功輔**

【当クラブ上半期の活動】

７月…総会例会（キックオフ例会）

８月…納涼例会、部長公式訪問例会にて入会式（藤田ワイズ１名）

９月…京都部部会、第２例会にて入会式（山内ワイズ、辻本ワイズ計２名）及び支援先への事業助成金贈呈

10月…じゃがいも例会（洛中、キャピタルクラブ合同）、ワイズデー（スーパーボールすくい出店）

11月…第１例会（京都市動物園 園長様ゲスト講演）、リトセンオータムフェスタ（キーマカレー他出店）

12月…インターナショナルチャリティラン（支援先ゲスト３名招待）、クリスマス例会開催（予定）

【上半期を終えて】

新たに３名のメンバーをお迎えすることができ、大変うれしく思います。今後もドロップのないようにメンバー間で交流を図りながら会員増強を目指していけたらと考えております。

めいぷるクラブは再来年（2024年３月23日（土））にウエスティン都ホテル京都にて40周年記念例会を開催予定です。今期から実行委員会を立ち上げ、記念アクト等、様々な催しを検討している最中です。次期岩見会長期でのご案内になりますが、お一人でも多くのご参加を頂ければと思います。

また、今期はブリテンの発行にも力を入れており、ブリテン委員長の林正樹ワイズに編集・作成をして頂いております。皆様のクラブへもメール配信させて頂いておりますので、ご一読頂けましたら幸いです。

下半期もどうぞよろしくお願い致します。

主題 I'm Y's, and We're Capital Club !!

副題 ～ YMCAと共に～

京都キャピタルワイズメンズクラブ

会長　**倉見　直樹**

会長になり半年が過ぎました。最近「半年終わったらもう終わったも同然やな」とお声がけ頂くことがありましたが、まだまだそんな気にならないです。

今期は２つのテーマを自分なりに考えてスタートしました。

一つはコロナで薄まっていたワイズメンであることの自覚とクラブ内の絆を取り戻す１年にしたいと考えました。また、京都部に石倉部長を輩出させて頂き「United by YMCA ～YMCAで、ひとつになる」を主題に掲げられました。上記の主題にはこんな思いを込めました。

もう一つはメンバー増強です。このテーマは日本中のクラブの会長がお考えのことだと思います。

EMC委員会、ドライバー委員会、クラブメンバーの皆様のご協力で１月に一人新メンバーを迎えることができます。次期40周年を40人体制で迎える目標にはまだまだ及んでおりません。引き続きEMCをメンバー皆さんで意識し続けていきたく考えております。

上半期の振り返りですが、9月開催の部会準備でメンバー皆さんが忙しく活動されている中、今期がスタートしました。7月、8月はコロナウィルスが蔓延し、春には考えなくていいと思っていたことを考えざるを得なくなりました。今期の主題に基づき例会は国の措置がない限り開催すると皆さんに発信した矢先、クラブ内でも感染者が出る事態が発生（私も感染しました）し、8月の納涼例会を中止する判断をしたときは少し恥ずかしい思いをしました。これまでの会長さんもこのような判断をされてきたのだなあ、と改めて感じました。

大きい、小さいに関わらず最終的にジャッジしないといけない立場であるからこそ、自分の考えを持ったうえで三役の方々をはじめ皆さんに相談し、その時点でベストな判断をしてきたつもりです。皆さんの意見を聞きながら勇気づけられたり、自分の考えの浅さを思い知らされたり、会長であるからこそできる経験を積ませて頂きありがたく感じております。

あと半年となりました。本音は「何も起こってくれるな」ですが、仮に起こったとしても自分なりに考えたうえで三役の皆さん、メンバーの皆さんの意見を聞きながらベストな判断をしてまいりたいと思っております。

主題 “誠実に事に当たる”

副題 誠意を持って他者を思いやる

京都プリンスワイズメンズクラブ

会長　**西村　博**

プリンスクラブ40周年に向かい如何にプリンスクラブを素晴らしいクラブにしていくかとの思いをもって出発しました。まず最初の8月納涼例会では不覚にも少々飲みすぎたのが原因かもしれませんが、虚血性大腸炎で入院することになってしまいメンバー各位には、ご心配とご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。9月3日は京都部会です。プリンスクラブは今期は例会振替をしてメンバーほぼ全員参加してくれました。9月10、11日は、富士山部の伊東クラブとのDBC締結に向けての訪問です。初日はBBQ例会を持って頂き総勢50数名の参加で両クラブ意気投合し締結に向けて有意義な時間を過ごすことができました。10月は東広島クラブへの訪問です。毎年東広島の西条で酒祭りが開催されています。コロナ過であることから久々の東広島です。東広島クラブもメンバー数が非常に少ないですが会長を筆頭に頑張っておられます。国際交流事業委員長には、両クラブへの訪問の段取り等でお骨折りをいただき感謝感謝です。10月1日は、九州部会にメネットと参加してきました。そこで、九州部の元気のないのには少々戸惑いました。以前の九州部では、こんなことは考えられないことです。私が知っている限りでは !!

半期が経ちました。今期の目標である5人の新入会員の獲得も今のところ1人の入会に甘んじておりますが、何が何でも5人の獲得は達成せねばならないです。その一つのきっかけになってくれたらの思いもあって今期のクリスマス例会はゲストに天草ショーゴ（ギアのメンバー）さんをお迎えして素晴らしいマジックをご披露していただきます。当日は、メンバーの協力をもって今の所多くのメンバー候補にご参加いただけそうですので頑張ります。

残り半期、各委員会の事業も目白押しです。楽しいクラブライフを送るための素晴らしいクラブ事業の確立を検討していきます。

主題 原点回帰

副題 クラブの分岐点

京都センチュリーワイズメンズクラブ

会長　**駒谷　憲美**

主題にあるよう原点回帰でスタートしました。今期がスタートする前に一度解散の話もありましたが、もう1年やってみようと現状メンバー 4名広義会員2名の計6名にてスタートしました。役員会等で話し合いを何度も重ねた結果、最終今期で解散することになりました。

4名では例会も難しい状況ですので、この1年は他クラブの周年例会を例会扱いにし、全員参加していく予定で活動しています。

最後までやりきりたいと、リトセンワーク春・秋とも積極的に出店し参加しています。

下期も他クラブの周年例会に、参加させてもらい最後に西日本区大会を6名全員で参加したいと考えています。

主題 『一致団結』
副題 クラブ愛No.1チーム

京都ウイングワイズメンズクラブ
会長 松島 正雄

上半期の活動報告をさせて頂きます。
ワイサ事業では①リトセン夏季準備ワーク②リトセン秋季準備ワーク③国際協力基金活動④青い空と白い雲のキャンプ⑤リトセンオータムフェスタへ⑥チャリティーランへの参加に取り組みました。

地域奉仕活動としましてはワイズデーに参加し、クラブの支援先である社会福祉法人白百合会様と成望館様の利用者さんたちが作られた商品を販売して頂きました。しかし、中止となる事業（府立医大病院コンサート、京大こども病棟秋祭り、成望館ふれあい祭り、リ・ブランバザー等）も多く焦らずに少しづつ本来の活動に戻っていけるよう後期に期待しております。

交流活動としましては未だ安心してIBC先に訪問できない中、コロナ禍で出来る事を全力で取り組む姿勢で、DBC先である北見クラブに訪問し交流を深め（ウイングクラブ結成35周年記念例会には北見クラブより２名ご参加いただきました）、新たにDBC締結（東京ベイサイドクラブ）に向けても精力的に取り組んでおります。

ファンド事業としましては他クラブでのファンド商品を購入したり、自クラブのファンド商品を購入して頂くなどして他クラブとの親睦を深めております。

また、クラブ内の親睦を深めるために委員会・役員会を委員長の自宅で行うなどして、より濃い交流も深めております。

クラブの認知度向上・御家族のご理解・メンバー増強の為に、特別な例会にはメネット・コメット・ゲストの方の多くご参加をいただける取り組みに力を注いでおります。その成果としまして新会員２名が新たに仲間に加わり少しづつ良い方向に進んでおります。

そして、35周年記念例会も11月６日に無事終える事が出来、上半期も終わりに近づき私自身が気づき変った事といえば、心からクラブが自分にとって欠かせない大切なものになった事とウイングクラブの中しか知らなかった今までとは違いYMCAのサポート団体であるワイズメンズクラブとして広い視野で活動に取り組むことができた事です。そして、他クラブへの感謝と仲間意識が持てるようになった事です。

残り半年ありますが、歴代の会長からのバトンをしっかりと未来に繋げるべく、責任をもって少しでも前に進めて行きたいと思います。

主題 『新たな道を求めて Part2』
副題 洛中の原点から……未来の洛中へ

京都洛中ワイズメンズクラブ
会長 大本 正夫

コロナ禍の影響で昨年は例会開催もままならぬ状況でしたが、今期は無事に半年が過ぎました。
消化不良だった前期の主題・副題をそのまま引き継いでの今期のスタートでした。

特にCS活動への影響が大きく、メイン行事であった養護施設の子供たちをサバエキャンプ場へご招待が出来なくなり、あれだけ喜んでもらえていたのにと少し不安な中、今期はリトセンキャンプ場へ招待しましたが、Ｙのリーダ－達が一生懸命にサポ－トをして頂き、あの川の中で子供達が楽しそうに思い出作りをしてくれたことなどに安堵しています。

加藤総主事から「夏の思い出を等しく子供たちにキャンペーン」をYMCAの今期行事として掲げられ、日本海へという企画に誘っても頂きましたが、いつもの先生がそばにおられないと行けないという児童ばかりで、Ｙのキャンプへの参加は実現出来ませんでした。

ところで、わがクラブも設立35周年。マンパワー不足で周年行事は開催しておりませんが、他クラブの周年行事に参加させて頂く事が多く、とても良い刺激を受けております。

小児科病院におられる子供さんをキャンプにお連れされている活動。その病院の先生からの感謝のお言葉。そしてそれを紹介されていた司会者の方の涙には感激致しました。同じワイズメンとして誇りに思いました。

又、交流行事として11月には富士五湖クラブと親睦合同例会で、天の橋立への一泊旅行も大変楽しいひと時を共有できました、その折には北京都フロンティアクラブの方のお店で夕食をともに出来たこともワイズ繋がりです。

あと半年となりました。予定した行事が無事に進められることを心から願っております。

我がクラブは、次期以降現役世代会長が続く予定です。今まで引き継いできたタスキをうまく繋げられるように頑張ります。

主題 サスティナブルな活動を
副題 伝統を守り、楽しむ

京都エイブルワイズメンズクラブ
会長　山根　弘丈

勉強不足の中、会長を続け半年が過ぎました。京都エイブルクラブは、まず第一に人員不足だと思っておりましたので、今期のEMCの目標を「確実に１名増やす」を掲げておりました。

実は入会するであろう人がおりましたので、すぐ目標はクリアできるであろうと思っておりましたが、おそらく来期の頭頃に入会するという流れになりましたので、かなり焦りました。

京都クラブ様の周年イベントで、T-BOLANが来るというのを聞き、T-BOLAN見に行こうというノリで、多数の友達や業界の方、などに声をかけ20名ほど集めて、そこでクラブの勧誘を行いました。すると２名入会予定者が決まりました。京都クラブ様の周年イベントのおかげだと思っております。

ちょうどその時期にEMC例会として、４クラブ合同例会がありましたので、その日に加藤総主事、塚本主任、青倉主査に来ていただき入会式を行い、盛大にお祝いをして頂きました。とても思い出に残る例会になりました。

後会長会の充実があると思います。毎回楽しい会長会を行なっていただき、とても風通しいのいい楽しい雰囲気で他クラブの方との交流を深められ、ワイズがもっと好きになりました。

下半期の抱負と致しましては、今まで行ってきた奉仕活動を楽しく継続して行い続けると、自然と新入会員の方々が新しい新入会員を増やしてくれるかなと期待しております。

主題 30周年に相応しいクラブへ成長
副題 ～メンバー 100名を目指せるクラブへ～

京都グローバルワイズメンズクラブ
会長　久保田　雅彦

７月のキックオフ例会から早いもので半年が経過しようとしております。三役の皆さま、各委員長の皆さま、そしてメンバーの皆さまに支えられて無事にクラブ運営が出来ていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

総会、納涼例会、家族例会、2V例会、焼肉親睦例会…大変充実した例会が開催出来ております。また例会だけでなくEMCオリエンテーション、CSチャリティーゴルフ、YMCAの各事業など各委員会主導の事業もたくさん実行していただきました。

また12月には新入会員も迎えることができて大変嬉しく思います。メンバー １人１人の協力のおかげでクラブが運営出来ていることを改めて再認識した半年間です。

下半期のメインは30周年記念例会の開催となります。以前より記念事業『カンボジア学校建設プロジェクト』を進めており、2023年１月にはメンバー 15名で現地を訪れて学校の贈呈式を執り行います。

そして２月12日には30周年記念例会の本番を迎えます。長期間に渡り、大変多くのメンバーに準備を進めていただきました。今回の周年例会は当クラブの30年間の集大成でもあり少し緊張しております。

ご参加いただく皆様に感謝の気持ちを込めてメンバー一同が準備を進めております。１人でも多くのご参加を心よりお待ちしております。

そしてこの記念例会がグローバルクラブの成長、メンバーの成長に少しでも繋がれば大変嬉しいです。

気を引き締めて下半期も頑張りますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。

主題 〈話・和・輪〉

副題 「Start with a bow and end in a bow」

京都トップスワイズメンズクラブ

会長　**田頭　邦彦**

上半期を振り返り長いようで短く感じられた半年間でした。コロナ禍が続く中で８月例会を除きリアル開催できたことは非常に良かったと感じます。また、７月のキックオフ例会では入会式もあり今までとは立場が変わり新鮮な気持ちでスタートできました。旧神崎小学校・リトセンワークなども多くのメンバーに参加いただき共に汗を流し清々しい気持ちになれました。今まで参加できてなかった事業への参加や、各部会への参加等を通し、他クラブのメンバーとの交流もできとても視野が広がったように感じます。前期からの引継ぎ事項である「大阪茨木クラブ」とのDBC締結に向けての取組も相互の例会出席を通して具体的な締結に向けての内容が決定できたことは喜ばしい限りです。上半期に於きましては三役・各委員長・メンバーが個々の持ち場を全うしていただき力強く感じましたし感謝致します。残り半期となりましたが、私自身変わらず事業への積極的な参加と、クラブメンバーの満足度向上のために少しでも力になれればと思います。当クラブも30周年に向けた取組も今後は考えていく中で、次期への流れをスムーズな形でバトンタッチできるように残り半期も精一杯頑張っていこうと思っております。

主題 Go! ToBe Go!

副題 ～今、未来への一歩～

京都トゥービーワイズメンズクラブ

会長　**新谷　嘉啓**

怒涛の如く上半期が過ぎようとしています。

振り返れば自分では何もしてないなあ、と反省しきりですが、三役はじめ、各委員長、そしてメンバーの皆さんの知恵と献身的な頑張りに支えられながら、素晴らしい事業ができていきました。

特にクラブのチャーターに関しては、我がクラブが誇る経験豊富な重鎮と、行動力と統率力のある委員長の働きがなければ成しえませんでしたし、各メンバーの頑張りのおかげで、トゥービークラブらしい、設立総会＆チャーターナイトでブラッククラブを盛大に送り出すことができました。

メンバーの皆さんには感謝しかありませんし、また遠方より、そしてお忙しい中、駆け付けてくださった沢山のワイズメンの皆様にもあらためて心より感謝申し上げます。

本来なら会長として、リーダーシップを発揮しクラブを引っ張っていく立場でありながら、こんなにも皆さんに頼っていて良いのかと思うほど、何もできない会長で申し訳なく思っています。

ただ、参加できるものには出来るだけ参加しようと心掛けていると、新たに見えて来ることが多く、益々ワイズメンズクラブの魅力を感じています。

この想いを少しでも多くの方に共感してもらえる様、メンバーの増強やクラブの各事業に努めたいと思います。

下半期も普段の事業に加え、沖縄クラブのエクステンション、25周年記念例会が有り、また関わりの深いチャリティーボウリング、東西交流会と休む間もなく続きますが、周年期の務めとメンバー全員で頑張っていきます。

主題 健康あっての奉仕活動
副題 20周年へ向けての意識改革

京都東稜ワイズメンズクラブ
会長　延近　昌彦

今期上半期を振り返りますと始まりの７月から12月まで様々な事業が目白押しでした。当クラブでは毎年７月に祇園祭クリーン活動を行っており、当日はたくさんのワイズメンの皆様にご参加頂きました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ご参加頂きました皆様、有難う御座いました。

直前まで祇園祭恒例の屋台は出ないとの事でしたが、屋台が出ており人の数も普通にはあるけない程の数でした。

そんな中参加頂きました方や準備頂きました東稜クラブメンバーの方々には急な内容の変更にも関わらず対応頂きました。本当に有難う御座いました。

７月末にはZEROクラブ様との合同クリーン活動を行い、８月にはZEROクラブ様との合同例会を行いました。

他クラブ様との交流がほとんどなかった東稜ですがZEROクラブ様のご協力もあり、７月合同クリーン例会後の懇親会では楽しく交流ができたと思います。有難う御座いました。

８月のZEROクラブ様との合同例会は部長公式訪問でしたが、私が体調不良のため欠席となってしまいました。部長及び随行の方々、ZEROクラブ石飛会長には大変ご迷惑をお掛け致しました。

その後も部会、ワイズデー、オータムフェスタ、他クラブ様周年例会への参加、クリスマス例会と怒涛のようなスケジュールの中クラブメンバーのご協力もあり乗り越えることができました。

内部の意識改革については、正直悪戦苦闘中でございます。

次期の20周年に向けて意識改革を進める以前に、東稜自体がどうあるべきかについて様々な意見がでてきております。

すぐに解決できる事ではありませんが東稜らしさは忘れず、それでいて時代にあった考えにしていければと思います。

諸先輩方だけでなく会歴の浅い方の意見も参考に一緒に協力して進んで行きたいと思います。残り半期となりますが次期の若い会長へスムーズにバトンを渡すため頑張って行きたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

主題 Step to the Future
副題 ～新しい出会いと感動を求めて～

京都ウェルワイズメンズクラブ
会長　奥村　治

上半期もそろそろ折り返し地点に差し掛かってきました。今期もコロナを怒らせない様に仲良くしながらクラブ活動を進めて参りました。お陰様で当ウェルクラブとしましては８月に３名の新メンバーを迎えることが出来クラブ内の環境も今迄以上に明るくなってきました。メンバーを増員することはクラブ内に活気と明るさを作り出してくれると、改めて実感しています。今後あと１名様も入会いただける様です。人との出会いを通じてクラブ活動に拍車がかかってきた現状です。

クラブ活動も今期はスケジュール通りに活動されておりメンバーに於いても特に大きな怪我や事故もなく安全安心に活動が進んでいます。特に10月の3C合同例会（プリンス・グローバル／環境SDGsアワー・ゲストスピーチ例会）では落語立川流　真打の立川平林様に落語を通じて笑って楽しいエシカル落語を披露していただき笑いの絶えない例会となりました。また11月には4C合同例会（センチュリー・エイブル・東稜）が開催されゲストスピーカには世界空手道選手権覇者の荒賀知子様にお越しをいただき空手道の厳しさと何より教育者の父上様の熱血指導のお話に会場が騒めいておりました。世界一を奪取するには相当な血と涙の努力がいることを痛感できた例会となりました。またこの4C合同例会はメンバー数が少ないクラブの集まりですが、今回の荒賀様の講演を聴きながらEMCを強化すること、諦めず最後まで勧誘の気持ちを持続させること、そんな気持ちにさせて頂ける例会となりました。

また11月後半には毎年恒例のチャリティーゴルフコンペを開催することが出来ました。41名の参加者と共に雨模様の天気ではありましたが最後まで皆様と親睦を深めさせていただく事が出来ました。この貴重な財源は支援先の動物愛護センターの花壇整備費用に使用させて頂きます。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて年を越しますと下半期がスタートします。この時期になりますと「今期もあと少しで終わりやね…」「次期の会長は誰？」など周りから声が聞こえて参ります。そろそろ引継ぎの事も考慮しながらスタート地点に進路を向けて折り返して行きたいと思います。2回目の会長ですので初めての時とは幾分違い余裕を持って対応しておりますが、実は各委員長には大変な思いをさせている事だと思います。

各委員長そしてメンバーの皆様いつもありがとうございます。

そして最後の引継ぎ例会まで潮目が変わる時もあるかもしれませんが最後まで全員笑顔で港に戻りましょう。

あと半年間引続きよろしくお願いいたします。

主題 「地固めの一年に」

京都ZEROワイズメンズクラブ

会長　石飛　智憲

早いもので会長期も折り返し地点を目前に控えています。先日、チャリティーランのクォーターマラソンに初めて参加をして無事に完走することができました。その時に印象的だったのが折り返し地点までは非常に遠くに感じたのに対して、折り返してからゴールまでは思った以上に近くに感じたことです。ゴールしてからの爽快感と達成感は何とも言えなかったですね。これからの会長期の半年もそのように早く過ぎていくのだろうと想像しています。同時に終えた時にはクォーターマラソンを完走した時のような爽快感と達成感を味わいたいと願っています。さて、この上半期を振り返ってみると当初に掲げた目標や計画がことごとく上手くいかなかったなと思っています。メンバー間にクラブに対しての温度差があるのは、ある程度想像していましたが会長という立場から見た時にこうも差があるのかと思い知らされました。しかし、思い返してみればなんの強制力もない組織です。会長がいくら旗を振ったところで皆が同じ方向に向くはずはないということも改めて理解できましたし、そのような組織がこんなにも長く歴史を刻んできたことに正直にいうと驚いています。ただ、驚いているままにあと半年を過ごす訳にはいきません。ここまできたら上手くやろうとは考えずに、開き直って自分の考えのもとに進めていこうと思っています。小手先だけで何かをやっても後に何も残らないことは今までの経験で理解しています。最後は“雨降って地固まる”で会長期を終われることを願っています。

主題 Fresh start

副題 ～さあ、もう一度出発しよう～

北京都フロンティアワイズメンズクラブ

会長　臼井　達也

会長になり半年が過ぎようとしています。

こんなにも早く時が経つのかという思いで過ごしております。

今年の主題でありますように、Fresh start ～さあ、もう一度出発しよう～を合言葉にスタートした今年度、コロナが落ち着きを見せてくると、出席率も良くなり、また出席率がよくなると例会に出席するメンバーを満足させようと、三役、役員が知恵を絞り毎月の例会の内容も充実してきました。

一度歯車がかみ合えばスムーズに回ってくれる、とてもいい循環ができるようになってきました。12月3、4日には北京都フロンティアクラブの一大事業でありますYMCA杯学童野球大会が3回目の開催を無事終えることが出来ました。

この大会は、舞鶴市の学童野球チームがすべて参加し、2日間のトーナメントで優勝を争います。学童野球の最後を締めくくる大会になっており、6年生にとっては小学校生活最後の大会ともなって、激闘が繰り広げられ、選手も見ているものも感動する素晴らしい大会となりました。舞鶴市では、YMCA北京都フロンティアクラブと言えば野球大会を主催している団体と知名度も上がってきましたが、それ以外の活動にも重点をおいて残りの半期の活動を行ってまいりたいと思います。

また、京都市内より遠方の為、なかなか他クラブとの交流が持てませんが積極的に参加をしていきたいと考えております。

前半で作ったいい流れをそのままに、後半は北京都フロンティアクラブ総力を挙げて邁進してまいります。

後半の北京都フロンティアクラブをこうご期待!!

主題 Lead To Black

京都ブラックワイズメンズクラブ
会長　木代　路万

11月18日（土）ANAクラウンプラザホテル京都にてチャーターナイトが開催されました。京都部18番目のクラブになりました。担当主事を含め18名でスタートします。

キーメンバーは２人で自分も含めてほとんどのメンバーが新入会員です。これからどのような活動していくかは、メンバー全員で相談して決めていきたいと思っています。

ブラッククラブがこれからどのように成長するかは未知数ですが、ほとんどのメンバーが40歳未満で奉仕団体で活動するのが初めてのメンバーばかりです。５年後10年後のブラッククラブがどのように成長しているかはまだ想像も出来ませんが、メンバーで話し合い他クラブと交流しクラブ活動を楽しんでいきたいと思っています。

設立総会、チャーターナイトに駆けつけていただきました、ワイズメンの皆さま本当にありがとうございました。

第 28 回　京都部部会

“仲間を増やそう　Make more friends”

◆ 開催日 ◆

2023 年 9 月 17 日（日）

◆ 場　所 ◆

ホテルオークラ京都
京都市中京区河原町御池

第 28 回　京都部部会実行委員会